

店舗用捕虫器

OptStyle

オプトスタイル

取扱説明書

2025年6月 第3版



本製品を安全に正しく使用していただくために、使用前に必ず本書をお読みください。
本書は、お読みになった後いつでも使用できるように、必ず所定の場所に保管してください。

IKARI

イカリ消毒株式会社

文書管理番号
B-OPS01-0211

はじめに

このたびは、オプトスタイル（以下「本製品」と記載）をお買い上げいただき、ありがとうございます。
本製品をお使いいただく際には、この取扱説明書（以下「本書」と記載）をよくお読みになり、正しくお使いください。また、本書はすぐに取り出せる場所に保管し、紛失しないようご注意ください。

商品について

「オプトスタイル」は、イカリ消毒株式会社（以下「当社」と記載）の商品です。

著作権

本書の著作権は、当社またはその許諾者が有します。また、お客様は、当該情報を当社の承諾なしに第三者に開示できません。

当社から事前に許可を受けることなく、本書の全部または一部を使用および複製することはできません。
また、本書の全部または一部を他の言語に翻訳、書き換えを行うことも禁止されています。

本書の対象読者について

本書は、本製品をご使用になるすべての方を対象に記載しています。ただし、通信試験や電気工事など専門技術を要する作業についての内容は記載しておりませんので、それらの専門技術情報は、しかるべき資格を有する方が、当社から適切な情報を入手の上行ってください。

お願い

本書の内容は予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

この製品は、日本国内専用です。

本書の記載には万全を期しておりますが、万一誤りなどがございましたら、当社までご連絡ください。

製品本体および構成部品、消耗品の廃棄方法は、国または地方自治体が定める行政法令に従ってください。

本製品を貸与または譲渡される場合は、本製品と一緒に本書をお渡しください。

本書の表記方法について

シグナルワードの意味

本書では、記載事項を守らないと人体への危険や物的損傷を招くおそれのある事項に関して、以下のような「警告」や「注意」といったシグナルワードを付けて記載しています。これらのシグナルワードが付いた記載事項は、事前によく読み理解し記載内容を遵守してください。

 警告	「警告」項目は、本製品の運用中に、作業者が死亡または重傷を負う可能性のある場合について記述しています。
 注意	「注意」項目は、本製品の運用中に、作業者が軽傷または中等傷を負う可能性のある場合について記述しています。
注記	「注記」項目は、作業者が負傷するおそれはないが、本製品、設備、機器などに損害や故障を引き起こすことが予想される場合について記述しています。

「重傷」、「中等傷」、「軽傷」の定義

「重傷」	失明、けが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が出るもの、および治療に入院や長期の通院を要するもの。
「中等傷」	全治1か月未満の入院を必要とし、軽度の後遺症が出るもの。
「軽傷」	治療に入院や長期の通院が必要ないもの。

絵記号の意味



人体に影響のあるリスクを示す記号です。この記号とともに具体的な警告内容が書かれています。



禁止行為を示す記号です。この記号とともに具体的な禁止内容が書かれています。



実行しなければならない行為を示す記号です。この記号とともに具体的な指示内容が書かれています。



「メモ」項目は、運用上、特に知っておかなければならない情報や内容がある場合に記述します。



「参照」項目は、関連する記載事項がある場合に、その参照先を記載します。

使用期間、供給期限について

設計上の標準使用期間について

 警告	 本製品の「設計上の標準使用期間」は、出荷後5年です。「設計上の標準使用期間」を超えて使用すると、経年劣化による発火や漏電などの事故が発生するおそれがあります。
---	---

この「設計上の標準使用期間」は、保証値ではありません。お客様による適切な維持・管理とお手入れを行った場合の標準的な想定期間です。また、ご使用条件（環境など）により記載数値を満足しないことがあります。

「設計上の標準使用期間」を超えた場合は、お手数ですが当社までご連絡ください。

本書の内容は、本製品が「設計上の標準使用期間」を迎えるまで有効とします。

保守部品の供給期限

保守部品の供給期限は、原則として、本製品の製造中止から6年間を目安としております。

ただし、使用部品のうち汎用の電子部品などにつきましては、メーカーの都合により、短いサイクルで製造が終了したり、仕様が変更されたりすることがあります。

当社では、汎用電子部品の製造終了時には、必要な数量を予測して一定数量を確保するよう努力しておりますが、場合によっては、本製品の製造中止後、6年を経過する前に、保守部品の一部の供給を終了させていただくことがあります。

また、市販品の機器および部品につきましては、各メーカー規定の供給期限となります。

保証期間満了後の修理などについてご不明な場合は、当社にお問い合わせください。

もくじ

はじめに	2
商品について	2
著作権	2
本書の対象読者について	2
お願い	2
本書の表記方法について	3
シグナルワードの意味	3
絵記号の意味	3
使用期間、供給期限について	4
設計上の標準使用期間について	4
保守部品の供給期限	4
1 安全にお使いいただくために	7
1.1 運用上の注意	7
1.2 保守・点検時の注意	8
1.3 製品銘板および警告ラベル	9
1.3.1 製品銘板	9
2 製品概要	10
2.1 本製品の機能	10
2.2 特長	10
2.3 仕様	11
2.3.1 製品仕様	11
2.3.2 付属品	12
2.4 各部の名称とはたらき	13
3 設置	14
3.1 設置の前に	14
3.1.1 設置の注意事項	14
3.1.2 設置スペース	15
3.1.3 開梱と梱包品の確認	15
3.2 設置の方法	16
3.2.1 壁に取り付ける方法	16
4 使用方法	20
4.1 ご使用前の準備	20

4.1.1	誘虫灯を取り付ける	20
4.1.2	捕虫紙をセットする	23
4.2	起動方法	25
4.3	停止方法	26
5	点検・保守	27
5.1	本体の清掃	27
5.2	捕虫紙の交換	28
5.3	誘虫灯の交換	30
6	こんなときは	33
7	製品の保管および廃棄	34
7.1	長期間使用しない場合の保管について	34
7.2	製品の廃棄について	34
8	消耗品リスト	35
8.1	消耗品	35

1 安全にお使いいただくために

本項には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しています。

正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上でお使いください。

1.1 運用上の注意



警告



- ・本製品を本書に記載されている以外の用途では使用しないでください。製品の破損や故障ばかりでなく、けがや重大な事故が発生するおそれがあります。
- ・電源コードを火に近づけたり、破損させないでください。ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
- ・指定された電源電圧以外では使用しないでください。製品の破損、発火事故の原因になります。
- ・濡れた手で本体、電源プラグやコンセントに触れないでください。感電などの事故の原因になります。
- ・電源プラグを抜くときには、電源コードを引っ張らないでください。感電やショートして発火することがあります。
- ・電源プラグにほこりが付着したまま使用しないでください。
- ・引火性ガスが発生する場所では、本体を使用しないでください。発火事故などの原因になります。
- ・本製品の分解や改造はしないでください。製品の破損、火災や感電の原因になります。また、お客様による分解、改造された製品は、保証の対象外となります。
- ・お客様による修理はしないでください。製品の破損、火災や感電の原因になります。また、お客様により修理された製品は、保証の対象外となります。
- ・本製品内部に液体や異物が入ってしまった場合は、すぐに電源プラグを抜き、使用を中止してください。そのまま使い続けると、火災や感電の原因になります。
- ・本製品に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- ・水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- ・本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐに電源プラグを抜き、使用を中止してください。そのまま使い続けると、火災や感電の原因になります。
- ・幼児の手の届くところで使用しないでください。感電やけが、やけどのおそれがあります。

 警告	 ・ 煙が出たり、異臭や異音がした場合は、すぐに電源プラグを抜き、使用を中止してください。そのまま使い続けると、火災や感電の原因になります。 ・ 設置場所および設置方法は、必ず「3 設置」に記載している事項に従ってください。
 注意	 ・ 薬品や有害なガスなどの影響を受ける環境では使用しないでください。本製品が腐食するおそれがあります。また、有害な薬品が付着することにより人体に害をおよぼすおそれがあります。 ・ 本製品を紙や布で覆ったり、燃えやすい物に近づけないでください。火災や製品が発熱し、火災の原因となります。
	 ・ 捕虫紙は、幼児やペットの手が届かない、安全なところに保管してください。 ・ 本製品は、目に有害な紫外線（300 nm 以下）は放射しません。しかし、近距離照射で長時間作業する場合は、安全のため眼鏡をかけてください。本製品の日常的使用時、ランプを直視することはありません。 ・ 必ずご使用地域の周波数を確認の上、電源周波数切替スイッチを設定してください。間違った周波数で使用すると、安定器の発熱や故障の原因となります。
注記	 ・ 汚れた場合は、中性洗剤をしみ込ませた清潔な布で軽く拭いてください。 ・ 温度差の激しい環境間を急に移動した場合、結露するおそれがあります。本製品は周辺温度 5～35 ℃、湿度 80 %RH 以下（結露しないこと）で使用してください。 ・ 誘虫灯のガラスの破損など、発光状態に異常が見られたときは、速やかに電源プラグをコンセントから抜き、ご使用を停止してください。 ・ 初めて点灯した時、電極部分が黒くなることがありますが、しばらく点灯した後には消えます。

1.2 保守・点検時の注意

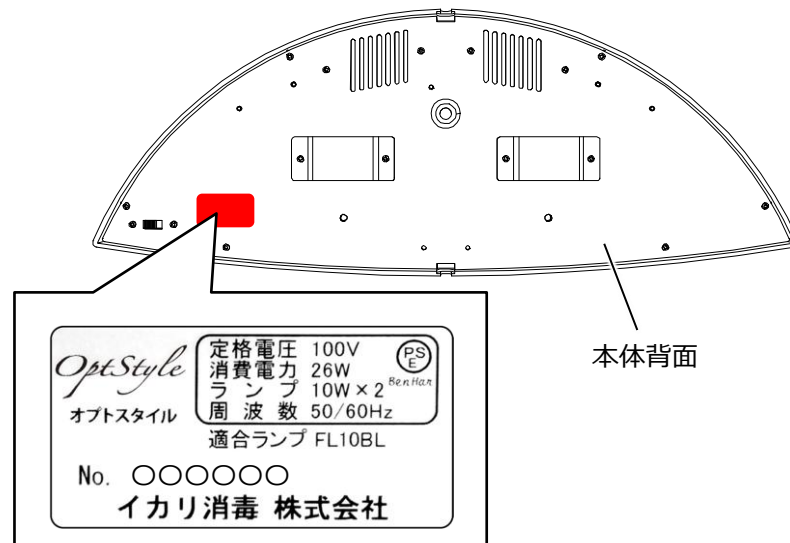
 警告	 ・ 清掃や消耗品交換の際は、必ず電源スイッチを OFF にしてコンセントから電源プラグを抜いて作業してください。 ・ 清掃および消耗品交換の際は「5 点検・保守」の該当項目に記載されている、注意事項と手順を守って作業してください。
 注意	 ・ 誘虫灯を扱う際は、落とさないように注意してください。誘虫灯の破損や破片の飛散によるけがのおそれがあります。
注記	 ・ オプトスタイル用捕虫紙の取り付け、取り外しの際は、粘着部が衣服や毛髪などに付かないようにご注意ください。

1.3 製品銘板および警告ラベル

製品銘板および危険警告ラベルが剥がれたり、劣化して読み取れない状態になったりした場合は、当社にご連絡の上、新しい製品銘板、危険警告ラベルを入手してください。入手した製品銘板、危険警告ラベルは、以前と同じ場所に貼り付けてください。

1.3.1 製品銘板

本製品の製品番号、定格などを記載した銘板を、下図のように貼り付けています。



2 製品概要

2.1 本製品の機能

本製品は、虫の好む光で飛翔性昆虫を呼びよせ、粘着式の捕虫紙で捕獲します。

対象害虫：ユスリカ、チョウバエ、コバエ、甲虫類などの飛翔性昆虫全般

対象場所：工場、倉庫、事務所、飲食店などの害虫活動箇所

2.2 特長

- 光反射板に特殊多層膜をコーティングし、紫外線のみを効率よく反射します。反射板なしと比べると約 10 倍の紫外線を前面に放出します。
- すべての部品に、ラウンドフォルム構造を採用し、構造に剛性を持たせたことで、構造補強の金具を排除したシンプルな構造を実現しています。
- 誘虫灯を 2 本構成にすることで、捕獲性能を向上させています。
- 500 mm 以下の本体寸法により、店舗の柱にも設置できる設計となっています。

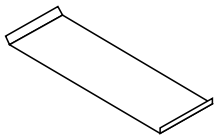
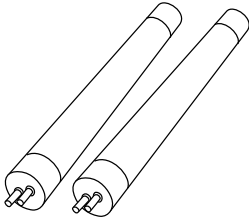
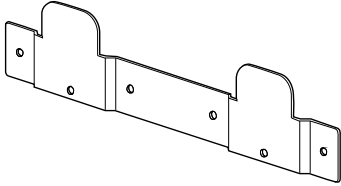
2.3 仕様

2.3.1 製品仕様

ノーマルタイプ

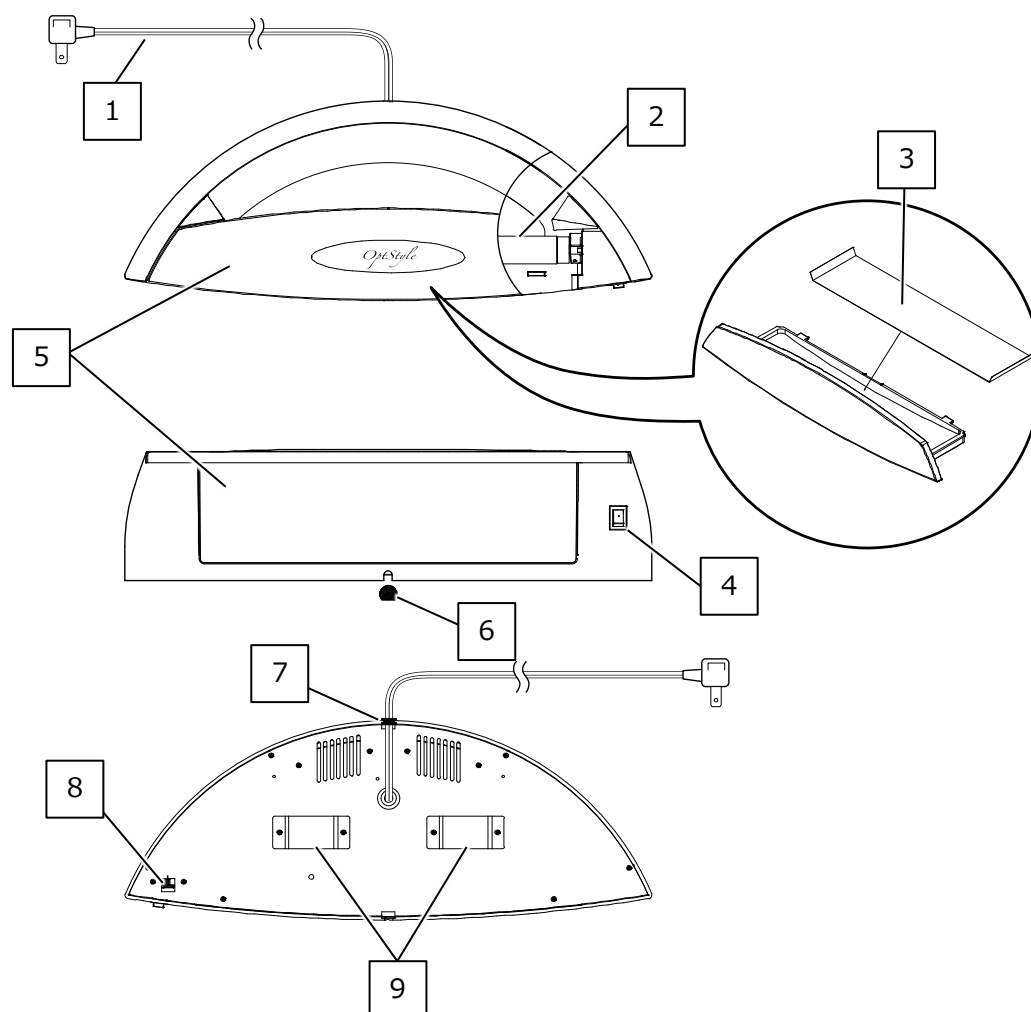
項目	内容
名称	オプトスタイル
寸法	(幅) 478 mm × (高さ) 181 mm × (奥行) 120 mm
質量	約2.5 kg
適合ランプ	FL10BL ×2本 ※飛散防止ランプ仕様あり
電源	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力	26 W
設置方法	壁付け
使用温度/湿度	5～35 ℃/湿度 80 %RH以下 (結露しないこと)
有効範囲	160 m ²

2.3.2 付属品

名称	外観	説明
捕虫紙（消耗品）		剥離紙タイプ（1枚） サイズ：350 × 80 mm
誘虫灯（消耗品）		10 W（2本）
ゴムキャップ		1個
壁付け板		壁付け用金属板（1個） 材質：ステンレス
壁付け固定用ビス		3本
本体固定用ビス		2本
フィッシャープラグ SX Plus		石膏ボード・薄ベニヤ板、ケイカル板用
取扱説明書	本書	1冊

参 照 消耗品の商品コード、商品名、仕様などは、「8 消耗品リスト」を参照してください。

2.4 各部の名称とはたらき



No.	名称	説明
1	電源コード	約2 mの電源コードです。グロメットを下に取り付けて、下向きに取り付けも可能です。
2	誘虫灯	捕虫器用蛍光ランプ（10 W ×2本）です。 仕様により、飛散防止膜付きの誘虫灯もあります。
3	捕虫紙	捕虫用の粘着シートです。
4	電源スイッチ	誘虫灯の入／切スイッチです。
5	オプトスタイル用トレー （以下「トレー」と記載）	捕虫紙を載せて本体に取り付けます。
6	ゴムキャップ	使用しない方のコード固定部に取り付けます。
7	グロメット	電源コードを固定するゴム製部品です。
8	電源周波数切替スイッチ	ご利用になる地域の電源周波数に切り替えるスイッチです。
9	壁付け金具（本体側）	壁に取り付けた壁付け板と連結する金具です。

3 設置

3.1 設置の前に

3.1.1 設置の注意事項

設置にあたっては、下記の事項をお守りください。

 警告	 ・本製品の定格電圧は、100 V です。定格以外の電源を供給しないでください。
	 ・壁に取り付ける場合は、十分強度のある場所を選び、確実に設置してください。壁材に合わせて適切なアンカー、ビスを選んで取り付けてください。
 注意	 ・薬品や有害なガスなどの影響を受ける環境では使用しないでください。本製品が腐食するおそれがあります。
	 ・人や物がぶつからない場所および高さに設置してください。 ・本製品は屋内に設置してください。

屋内であっても、以下のような場所では使用しないでください。

使用温度、使用湿度の範囲外になる場所

使用温度範囲：5 ～ 35 ℃、使用湿度範囲：80 %RH 以下（結露しないこと）

水（導電性液体）により絶縁性能の劣化が発生する危険のある場所

噴霧水、水蒸気などのかかる場所に設置すると、絶縁性能の劣化、腐食などによる感電、火災のおそれがあります。

振動の激しい場所

故障または本体が落下するおそれがあります。

粉塵が多い場所

粉塵の多い場所に設置すると、絶縁不良、感電や火災のおそれがあります。

直射日光が当たる場所

故障や変形の原因になります。

ぐらついた台の上、傾いた場所、不安定な場所での使用

けが・故障・破壊・接触不良の原因になります。

可燃性ガスなどにより、爆発する危険のある場所

本品は防爆仕様ではありません。可燃性ガス雰囲気では使用しないでください。

腐食性ガスなどにより、絶縁性能の劣化が発生する危険のある場所

腐食性ガスや溶液の発散する場所（※）に設置すると、絶縁性能の低下または導電性能が劣化し、感電や火災のおそれがあります。

※ 酸・アルカリ類、塩素酸、さらし粉、塗料もしくは、人造肥料の製造工場、銅・亜鉛などの製錬所、電気メッキ工場またはこれらに類する場所

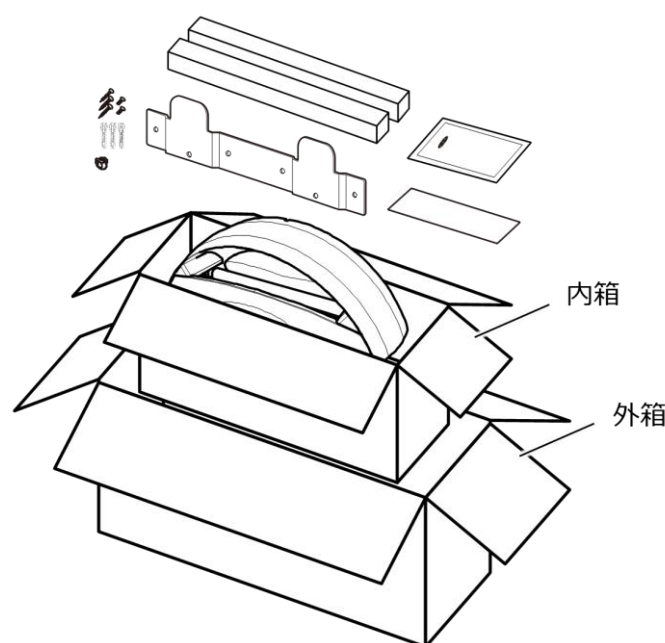
3.1.2 設置スペース

本製品の前後および下部は、誘虫灯の交換や捕虫紙の交換が支障なく行えるスペースを空けてください。

3.1.3 開梱と梱包品の確認

本製品は、段ボール（外箱、内箱）にビニールおよび緩衝材で保護された状態で梱包して出荷します。

製品到着後は段ボールを開けて、製品本体と共に「2.3.2 付属品」に記載されている品物がすべて揃っていることを確認してください。



注記



- ・開梱時に本体の破損や付属品の欠品がある場合は、設置や使用をしないで当社までご連絡ください。
- ・開梱後のダンボールや緩衝材は、再輸送のために保管しておくことを推奨しますが、廃棄する場合は、国または地方自治体が定める行政法令に従って適切に処分してください。
- ・修理や移送のため再梱包する場合は、納入時と同等に段ボールの中に緩衝材を入れて、輸送中に破損しないように注意してください。

3.2 設置の方法

3.2.1 壁に取り付ける方法



警告



・壁付け金具は、必ず付属の物を使用してください。付属品以外の金具を使用すると、本体の破損や落下によるけがを招くおそれがあります。ネジは必要に応じて別途ご用意ください。

取り付けに先立ち、以下に記載している、壁の仕上げ材料、下地の材料、建物躯体の状況を確認してください。

確認後は、付属の壁付け板に緩みのないよう、適切な方法で取り付けてください。

各下地に共通する確認事項

- ・ビス、ボルト類の強度は施工の良否により異なるので正確に取り付ける
- ・下地材の材質、位置を測定器などにより確認する
- ・仕上げ材、下地材、躯体などが確認できないときは、必ず図面で確認する
- ・ビス、ボルト類の設計強度は、表示強度の5分の1程度とする
- ・地震時にも落下しないよう、横揺れにも配慮する
- ・スプリンクラー・報知器など、消防設備のそばには取り付けない

下地別取り付け確認事項

- ・石膏ボードの場合
付属のフィッシャープラグを打ち込んでから、壁付け固定用ビスで取り付ける
- ・コンクリート躯体に直接取り付けの場合
付属のフィッシャープラグを打ち込んでから、壁付け固定用ビスで取り付ける
または、コンクリート専用ビス、ボルト類にて固定する
- ・コンクリートにモルタル仕上げの場合
付属のフィッシャープラグを打ち込んでから、壁付け固定用ビスで取り付ける
または、コンクリートに達するコンクリート専用ビス、ボルト類にて直接固定する
- ・コンクリートにプラスターボードが貼られている場合（GL工法）
付属のフィッシャープラグを打ち込んでから、壁付け固定用ビスで取り付ける
または、コンクリートに達する専用ビス、ボルト類にて直接固定する
- ・軽量鉄骨間仕切り下地
下地位置を確認し、ビス、ボルト類にて固定する
- ・ALC板下地（ALC：軽量発泡性コンクリート）
付属のフィッシャープラグを打ち込んでから、壁付け固定用ビスで取り付ける
- ・特殊な材料に取り付ける場合は、材料メーカーと協議する

壁面への取り付けは、以下の手順で行ってください。

1 電源周波数切替スイッチを設定します。



注意



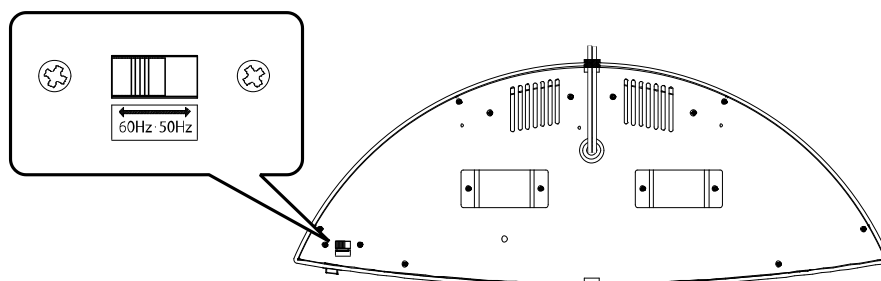
・必ずご使用地域の周波数を確認の上、電源周波数切替スイッチを設定してください。間違った周波数で使用すると、安定器の発熱や故障の原因となります。

初めてご使用になる際は、電源周波数切替スイッチがご使用地域の周波数に合っているか確認してください。ご使用地域の周波数と異なる場合は、スイッチを切り替えてください。

メモ

日本国内では、東側は50 Hz、西側は60 Hzの電気が供給されていますが、一部の地域では、異なる場合もあります。ご不明な場合は、ご契約の電力会社にお問い合わせください。

電源周波数切替スイッチ

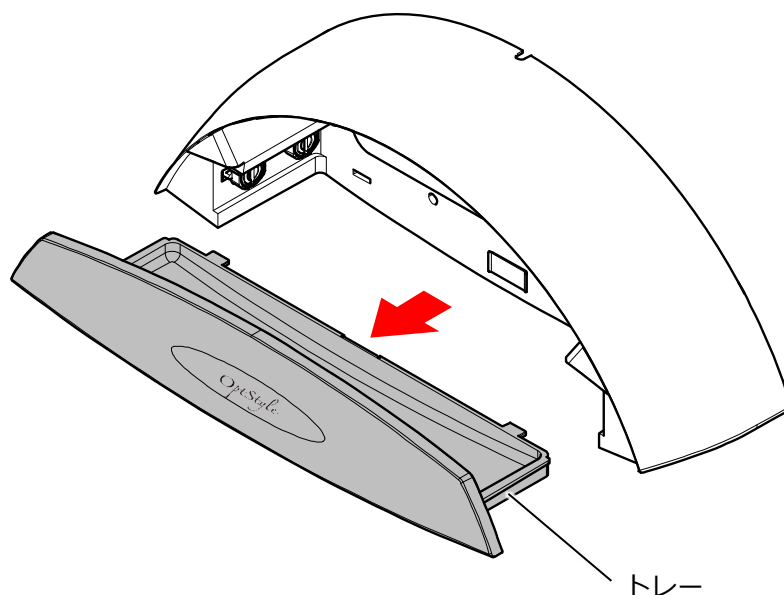


2 取り付け場所を決めます。

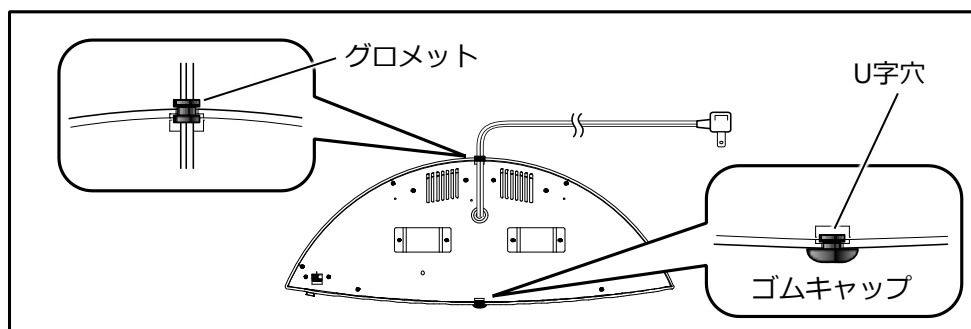
石膏ボード、中空母材などへの取り付けは、製品の落下の危険性があります。付属のフィッシャープラグをご使用ください。

3 トレーを本体から取り外します。

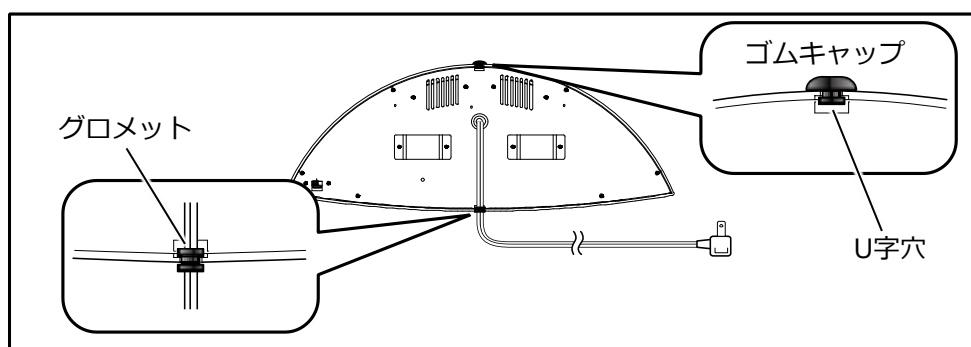
トレーはマグネットで固定されていますので、手前に水平に引くと外れます。



- 4 電源コードは、コンセントの位置などに合わせて本体の上部もしくは下部から出すことが可能です。下図のように上下どちらかにグロメットを取り付けてください。使わないU字穴には、ゴムキャップを差し込んでください。



<電源コードを上から出す場合>

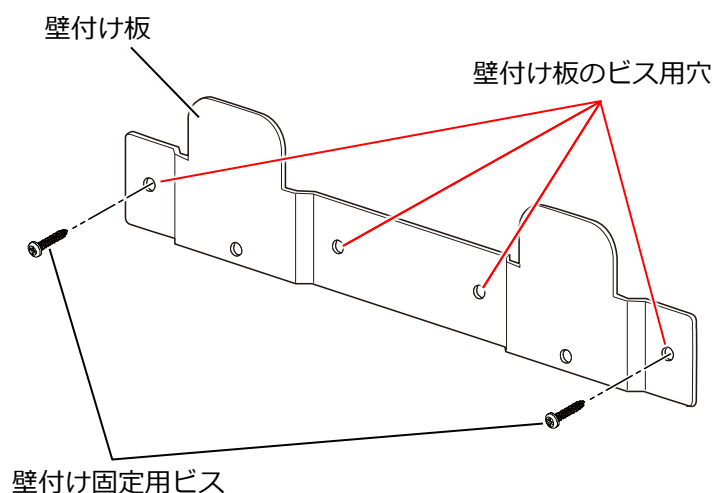


<電源コードを下から出す場合>

- 5 付属の壁付け板を、付属の壁付け固定用ビス（2本）で壁面に固定します。

メモ

壁付け板のビス用穴は、計4か所あります。そのうちのいずれか2か所を選択の上、壁付け固定用ビスで固定してください。

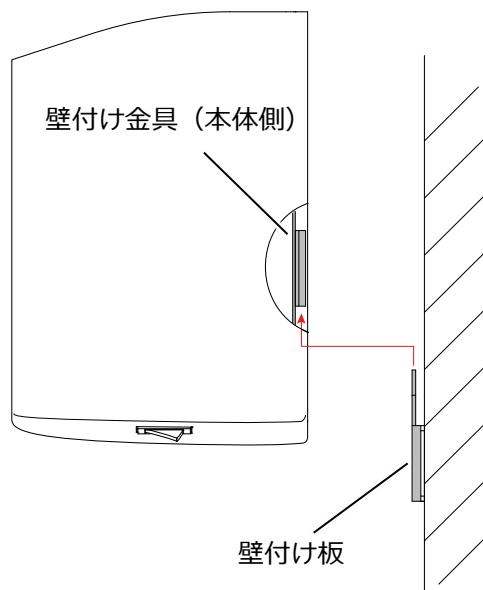


⚠ 注意

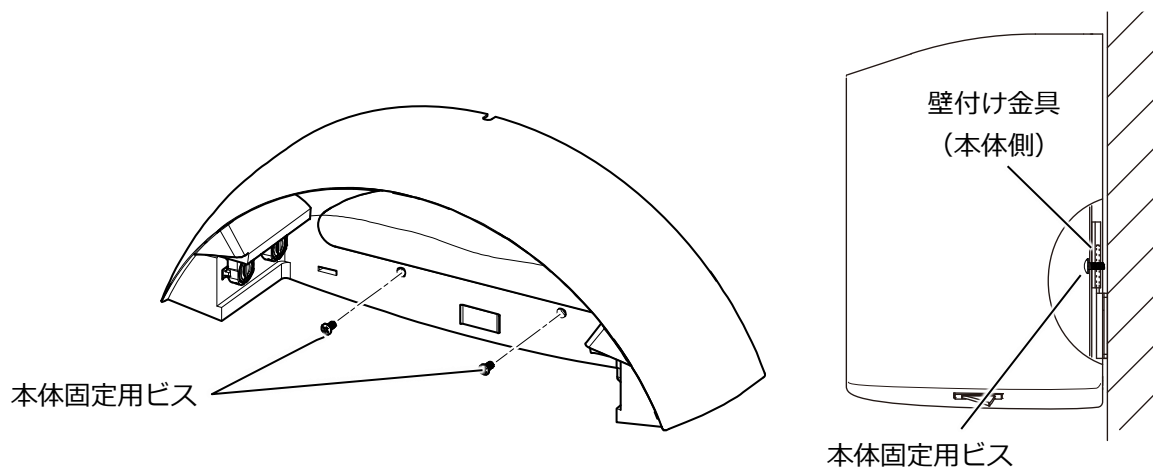


- ・石膏ボードや中空母材の場合は、付属のフィッシャープラグを打ち込んでから、壁付け固定用ビスで取り付けてください。
- ・壁付け板は、必ず水平に取り付けてください。
- ・付属のビスは、木部用です。壁の材質に合わない場合は、材質に合ったビスを別途ご用意の上、取り付けてください。

- 6 本体裏にある壁付け金具（本体側）を壁付け板に、上からスライドさせるように差し込みます。



- 7 本体固定用ビスで、本体の正面から壁付け金具（本体側）に固定します。



- 8 誘虫灯を取り付けます。

参 照

誘虫灯の取り付け方法は、「4.1.1 誘虫灯を取り付ける」を参照してください。

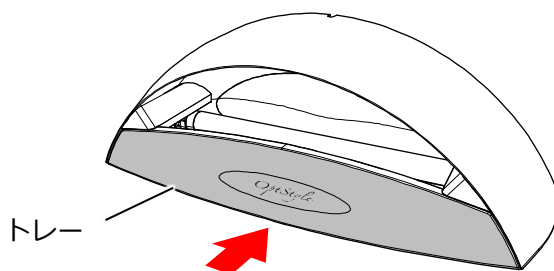
- 9 捕虫紙をセットします。

参 照

捕虫紙のセット方法は、「4.1.2 捕虫紙をセットする」を参照してください。

- 10 トレーを本体に取り付けます。

トレーは、本体の奥まで水平に押し込んでください。



以上で壁付けは完了です。

4 使用方法

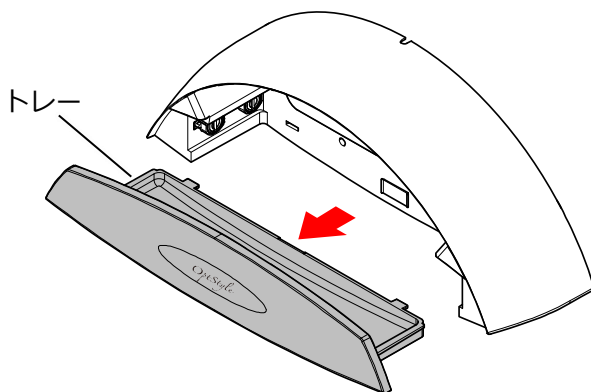
4.1 ご使用前の準備

4.1.1 誘虫灯を取り付ける

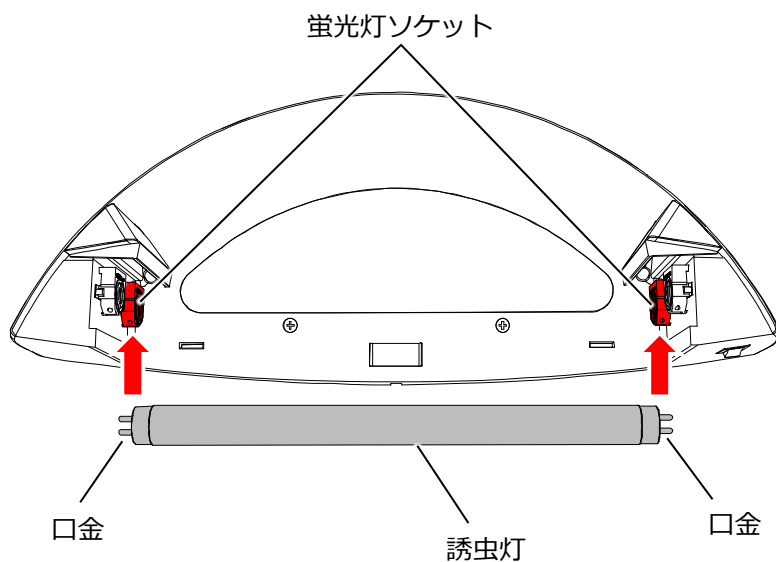
 警告	 ・ 誘虫灯を取り付けるときは、電源スイッチを OFF にして、コンセントから電源プラグを抜いて作業してください。電源を OFF にした直後は誘虫灯が熱いのでご注意ください。
 注意	 ・ 誘虫灯を扱う際は、落とさないように注意してください。誘虫灯の破損や破片の飛散によるけがのおそれがあります。
注記	 ・ 誘虫灯は、必ず当社指定の物を使用してください。指定外の物を使用すると、誘虫灯の寿命短縮や本製品の故障の原因となります。

1 トレーを本体から取り外します。

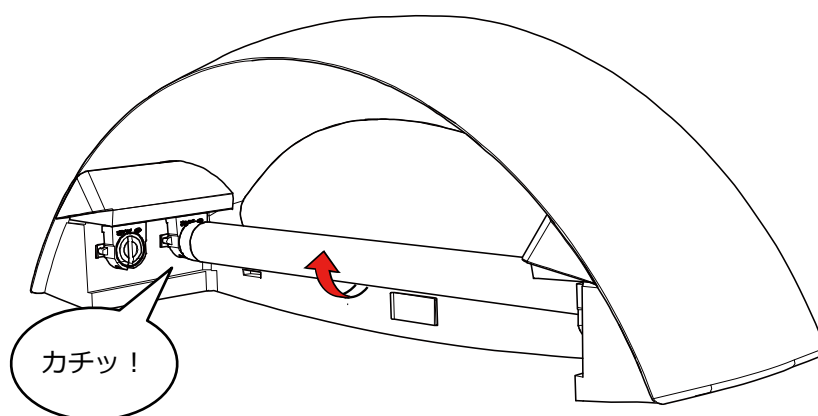
トレーはマグネットで固定されていますので、手前に水平に引くと外れます。



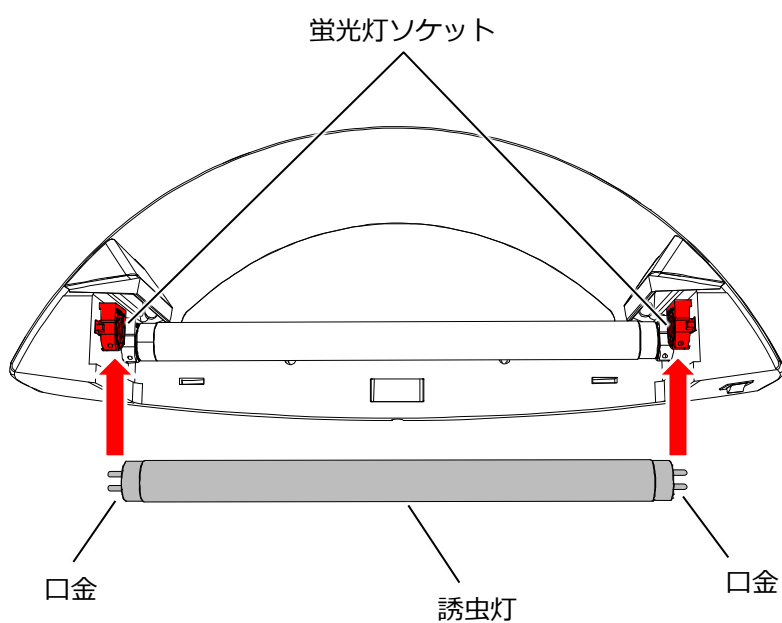
2 奥側にある蛍光灯ソケットに、誘虫灯の両側にある口金を差し込みます。



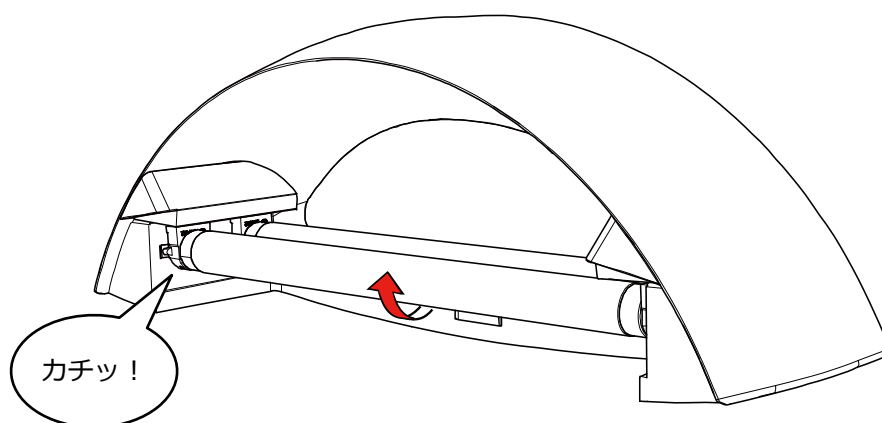
- 3 誘虫灯を90度回転させて、カチッと音がするまでしっかり固定します。



- 4 手前側にある蛍光灯ソケットに、誘虫灯の両側にある口金を差し込みます。



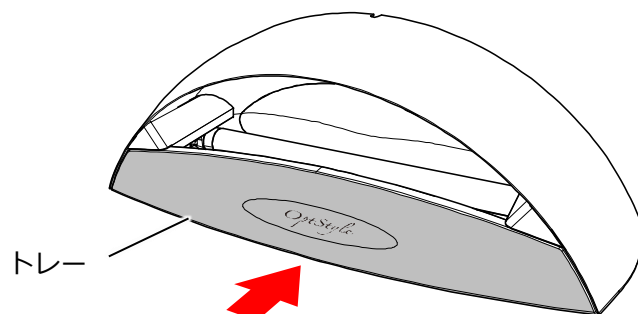
- 5 誘虫灯を90度回転させて、カチッと音がするまでしっかり固定します。



6 誘虫灯が外れていないか、ぐらつきがないか確認します。

7 トレーを本体に取り付けます。

トレーは、本体の奥まで水平に押し込んでください。

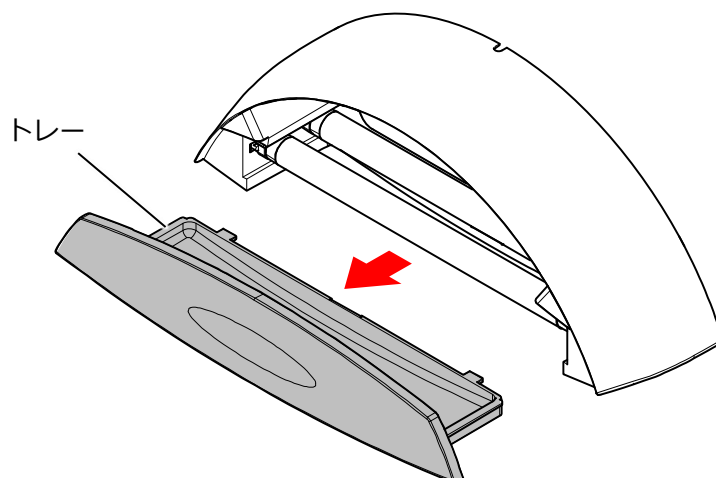


以上で誘虫灯の取り付けは完了です。

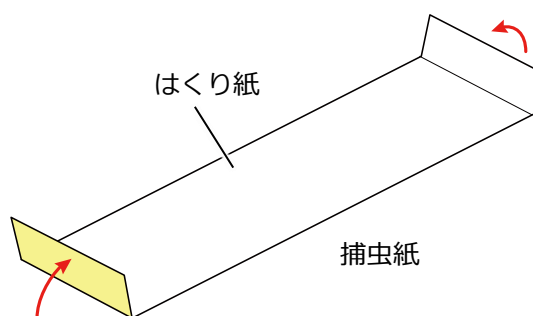
4.1.2 捕虫紙をセットする

1 トレーを本体から取り外します。

トレーはマグネットで固定されていますので、手前に水平に引くと外れます。



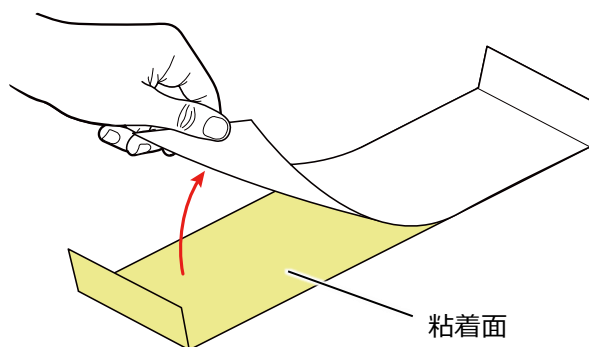
2 捕虫紙の両端にある折り目を、はくり紙（白い面）側に折り込みます。



3 捕虫紙のはくり紙をはがします。



捕虫紙の粘着面には触らないように注意してください。

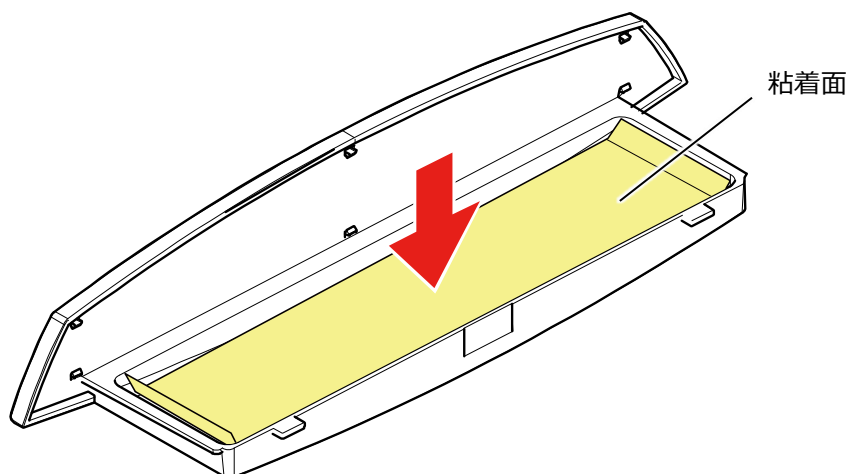


4 捕虫紙の粘着面を上にして、トレーに載せます。

注記

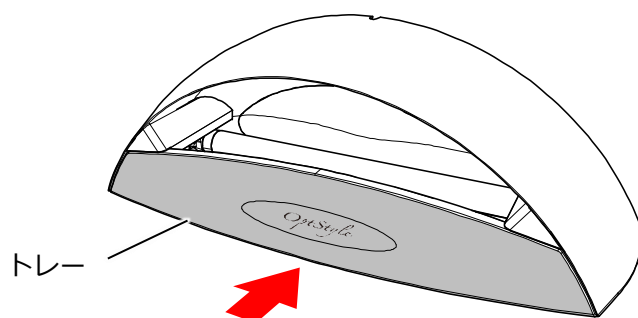


・ 捕虫紙をトレーに載せる際、および本体にトレーを取り付ける際は、粘着面がトレーや製品本体に付かないよう注意してください。



5 トレーを本体に取り付けます。

トレーは、本体の奥まで水平に押し込んでください。



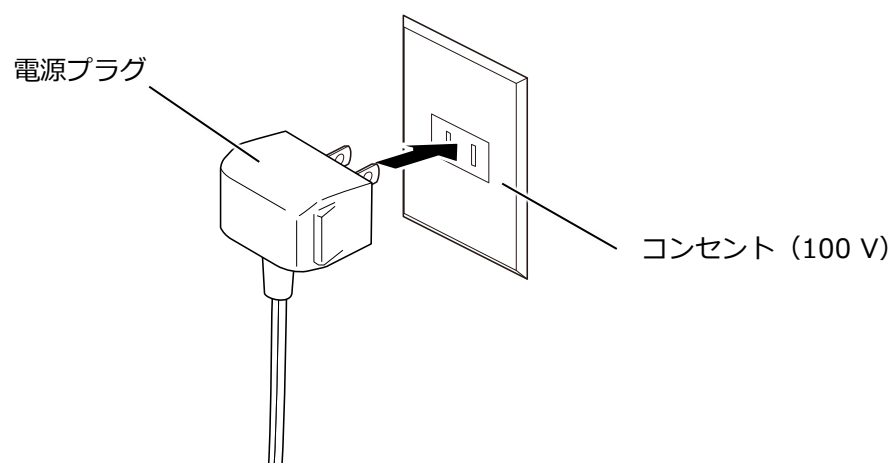
以上で捕虫紙のセットは完了です。

4.1.3 コンセントに電源プラグを差し込む

**警告**

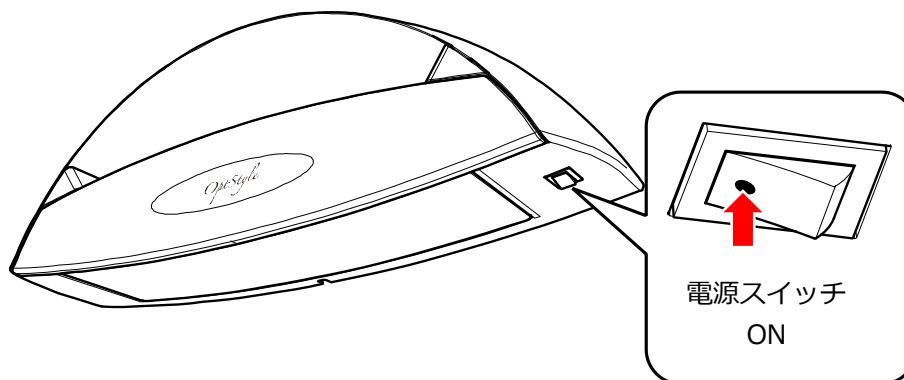
・濡れた手で本体、電源プラグやコンセントに触れないでください。
感電などの事故の原因になります。

- 1 100 Vのコンセントに電源プラグを差し込みます。



4.2 起動方法

- 1 電源スイッチを入れる前に、「4.1 ご使用前の準備」の記載項目が完了していることを確認します。
- 2 電源スイッチをONにします。

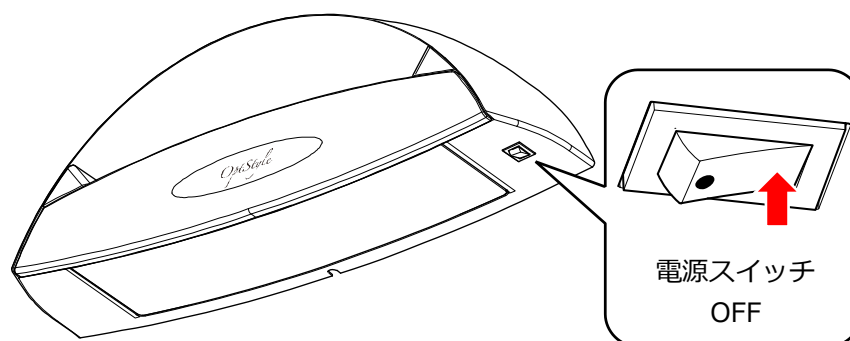


- 3 誘虫灯が点灯していることを確認します。

メモ 誘虫灯が点灯しない場合は、使用を中止し「6 こんなときは」を参照して、対策をとってください。

4.3 停止方法

- 1 電源スイッチを押してOFFにします。
誘虫灯が消灯します。



- 2 電源プラグをコンセントから外します。

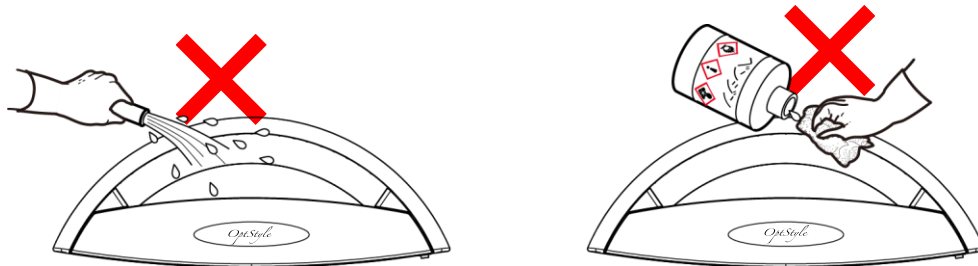
5 点検・保守

5.1 本体の清掃

点検・保守の周期：1か月ごと

清掃方法

 警告	 ・ 本製品に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。 ・ 蛍光灯ソケットの樹脂部には、水・洗剤・薬品などは使用しないでください。部品の劣化や感電の原因となります。
注記	 ・ 本体表面をガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールなどの揮発性の物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・変形の原因となります。



製品の汚れは乾いた布、またはぬるま湯・中性洗剤を含ませたやわらかい布をよく絞って拭いてください。最後は乾燥した布で水分をふき取ってください。

5.2 捕虫紙の交換

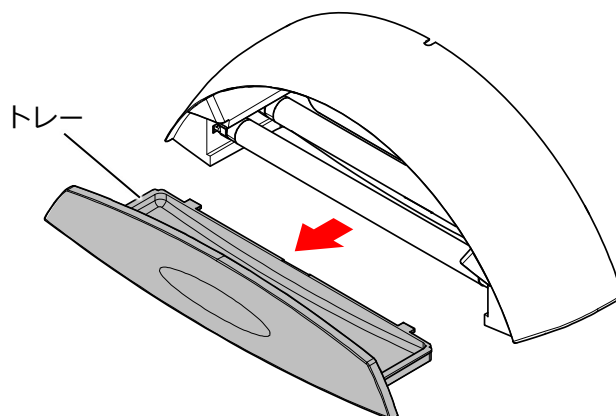
点検・保守の周期：1か月ごと（捕獲量などにより決めてください。）

警告	 ・ 捕虫紙を交換するときは、電源スイッチを OFF にして、コンセントから電源プラグを抜いて作業してください。電源を OFF にした直後は、誘虫灯が熱いのでご注意ください。
注記	 ・ 使用済みの捕虫紙をそのまま持ち歩かないでください。粘着部が衣服や毛髪などに付くおそれがあります。
	 ・ 使用済みの捕虫紙は、粘着部に注意して紙などに包み、国または地方自治体が定める行政法令に従って適切に処分してください。 ・ 捕虫紙は、必ずオプトスタイル用捕虫紙をご使用ください。

交換方法

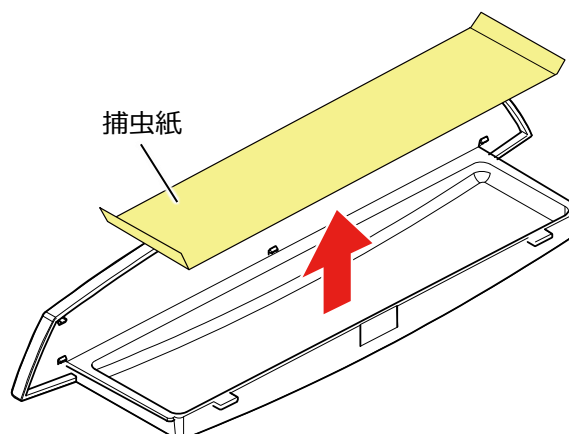
1 トレーを本体から取り外します。

トレーはマグネットで固定されていますので、手前に水平に引くと外れます。



2 トレーから捕虫紙を取り出します。

メモ 捕虫紙の粘着面には触らないように注意してください。



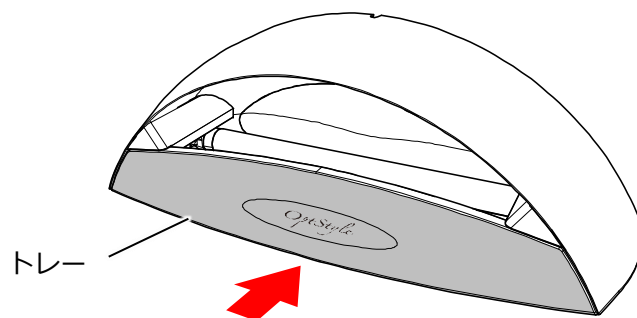
3 使用済みの捕虫紙を粘着部に注意して紙などに包みます。

使用済みの捕虫紙は、国または地方自治体が定める行政法令に従って適切に処分してください。

4 「4.1.2 捕虫紙をセットする」を参照し、新しい捕虫紙をセットします。

5 トレーを本体に取り付けます。

トレーは、本体の奥まで水平に押し込んでください。



以上で捕虫紙の交換は完了です。

5.3 誘虫灯の交換

点検・保守の周期：3か月ごと※

※誘虫灯の定格寿命は、3,500時間（4か月）ですが、寿命間近の誘虫灯は新品に比べて誘引効果が大幅に減少しているため、3か月ごとの交換を推奨します。



警告



・ 誘虫灯を交換するときは、電源スイッチを OFF にして、コンセントから電源プラグを抜いて作業してください。電源を OFF にした直後は誘虫灯が熱いのでご注意ください。



注意



・ 誘虫灯を扱う際は、落とさないように注意してください。誘虫灯の破損や破片の飛散によるけがのおそれがあります。

注記

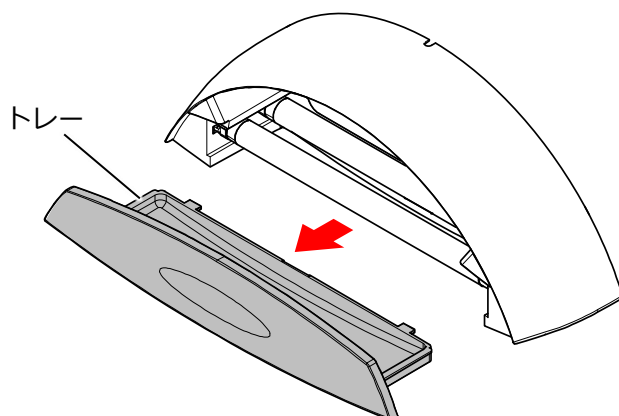


・ 誘虫灯は、必ず当社指定の物を使用してください。指定外の物を使用すると、誘虫灯の寿命短縮や本製品の故障の原因となります。

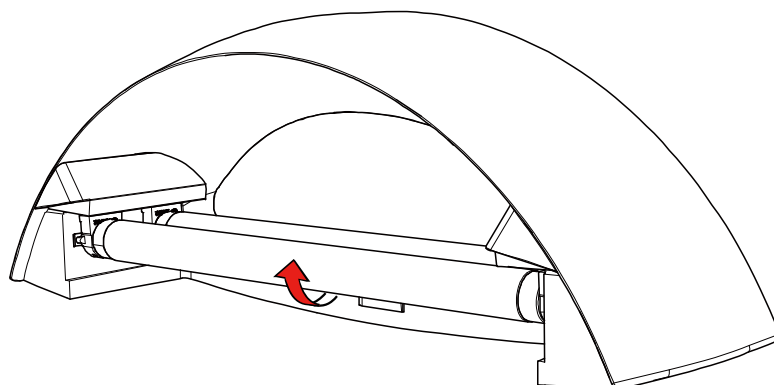
交換方法

1 トレーを本体から取り外します。

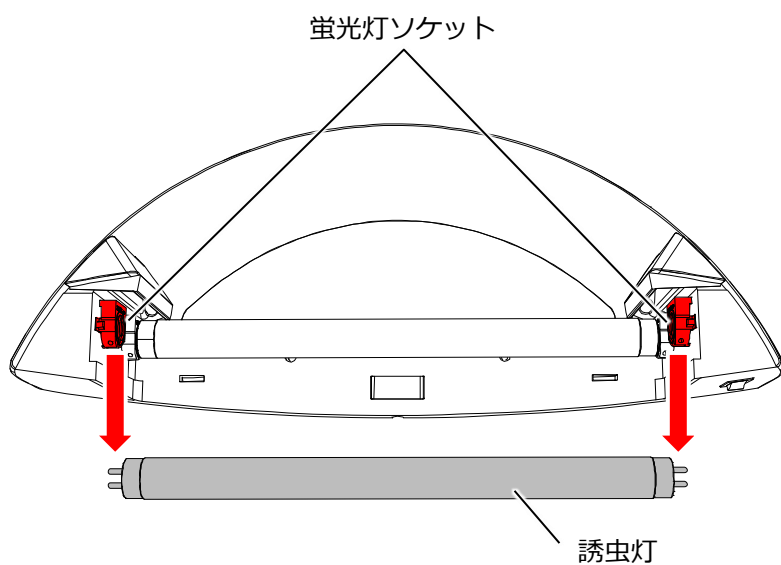
トレーはマグネットで固定されていますので、手前に水平に引くと外れます。



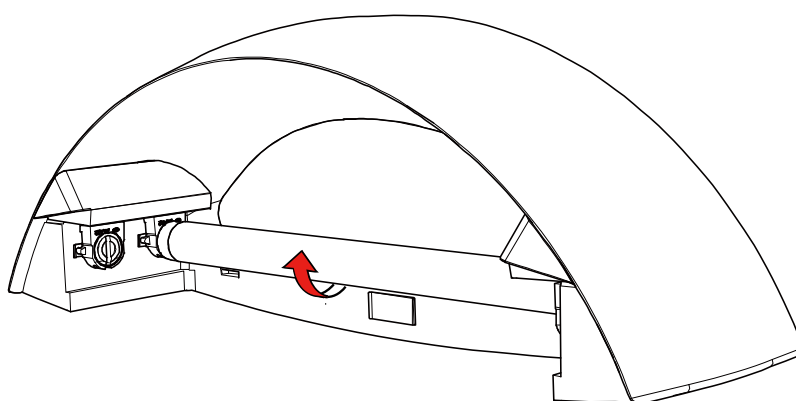
2 手前側の誘虫灯を90度回転させて、取り外せる位置にします。



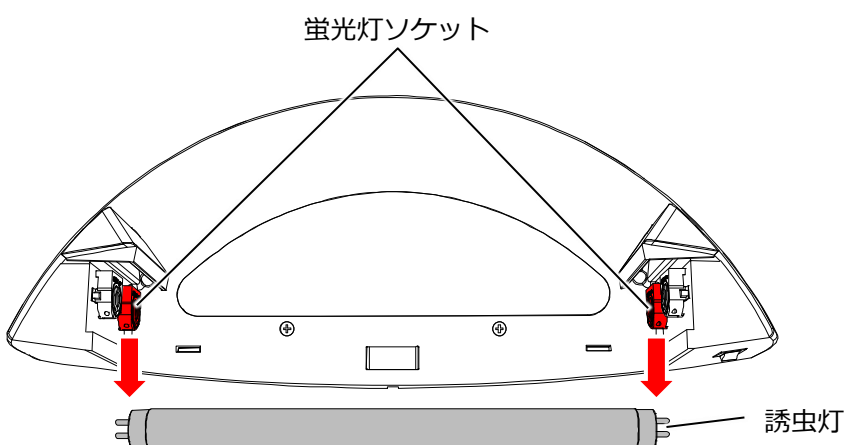
3 誘虫灯を蛍光灯ソケットから引き出します。



4 奥側の誘虫灯を90度回転させて、取り外せる位置にします。



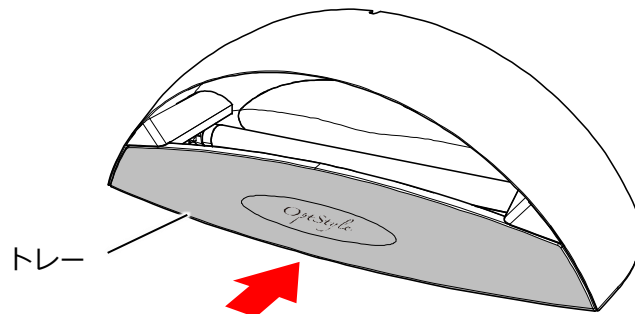
5 誘虫灯を蛍光灯ソケットから引き出します。



6 「4.1.1 誘虫灯を取り付ける」を参照し、新しい誘虫灯を取り付けます。

7 トレーを本体に取り付けます。

トレーは、本体の奥まで水平に押し込んでください。



以上で誘虫灯の交換は完了です。

6 こんなときは

本製品を運用中に下表に記載の現象が発生した場合は、原因と対策を参照の上、適切に対処してください。

下表に記載の対処を行っても解決しない場合や、下表に記載のない不具合が発生した場合は、運用を停止し、当社にご連絡ください。

注記	 ・ 輸送時の取り扱いの不備が考えられる場合（開梱時に梱包箱の外傷や本体の変形が見られた場合など）は、製品到着後 1 週間以内に輸送業者に連絡を取り、輸送状況を確認してください。輸送業者に瑕疵が無い場合は、当社までご連絡ください。
-----------	--

No.	現象	原因	対策
1	スイッチをONにしても誘虫灯が点灯しない	コンセントが差し込まれていない	コンセントを確認し、電源プラグが正しく差し込まれていない場合は、差し直してください。
		電源が供給されていない	コンセントまで電気が供給されているか確認してください。他の機器が使えるか、または元電源のブレーカーが落ちていないか確認してください。
		誘虫灯が蛍光灯ソケットにしっかりはまっていない	誘虫灯が蛍光灯ソケットにしっかりはまっているか確認してください。しっかりはまっていない場合は、いったん誘虫灯を取り外して、はめ直してください。 「5.3 誘虫灯の交換」参照
		誘虫灯が切れている	誘虫灯をはめ直しても点灯しない場合は、誘虫灯が切れている可能性があります。その場合は、新しい誘虫灯に交換してください。 「5.3 誘虫灯の交換」参照
		内部の不具合	上記の対策を行っても点灯しない場合は、内部の不具合が考えられますので、当社にご連絡ください。
2	異音、異臭がする	電装部品の不具合	直ちに使用をやめ、当社にご連絡ください。

7 製品の保管および廃棄

7.1 長期間使用しない場合の保管について

本製品を長期間使用しない場合は、以下の事項を守ってください。

- 捕虫紙を取り外してから、本製品を保管してください。
- 「3.1.1 設置の注意事項」に記載している設置条件と同等の場所に保管してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いてください。

長期保管後に再使用する場合は、以下の点検を行ってください。

- ほこりの堆積やかびの発生などがないか確認してください。特に誘虫灯に汚れがあると捕虫効果が落ちますので、ご注意ください。
- 捕虫紙は新しい物をセットしてください。

7.2 製品の廃棄について

本製品を廃棄する際は、捕虫紙、誘虫灯を取り外してください。

製品本体、構成部品、消耗品の廃棄処分は、国または地方自治体が定める行政法令に従って適切に処分してください。

環境保全のため、不法投棄は絶対にしないでください。

8 消耗品リスト

消耗品をご用命の際は、下表の商品コードおよび商品名をご確認の上、当社までご連絡ください。

8.1 消耗品

商品コード	商品名	仕様	備考
3169	誘虫ランプ（10 W）	10 W	1台でランプ2本使用
2745	飛散防止誘虫ランプ（10 W）	10 W飛散防止膜付き	1台でランプ2本使用
19878	オプトスタイル用捕虫紙 （6枚）	サイズ：350 × 80 mm 剥離紙タイプ	
19876	オプトスタイル用トレー	材質：AES樹脂	
19877	オプトスタイル用蛍光灯ソケットカバー（LR／2個セット）	材質：AES樹脂	
23103	オプトスタイル用壁付け板	壁付け板×1個 材質：ステンレス	壁付け固定用ビス2本 本体固定用ビス2本 付属

保証とアフターサービス

保証について

保証期間は誘虫灯などの消耗品を除き、お買い上げの日より1ヶ年間です。
保証は日本国内においてのみ有効です。

修理について

保証期間内に、取扱説明書・本体ラベルなどの注意に従った正常な使用状態で、故障が発生した場合には、無料修理させていただきます。

保証期間内でも次の場合は有償修理となります。

- ・ 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- ・ お買い上げ後の落下などによる故障および損傷
- ・ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源などによる故障および損傷
- ・ 消耗部品
- ・ 故障の原因が本製品以外に起因する場合
- ・ その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障および損傷

補修用部品の保有期間

当社ではこの商品の補修用電気部品を製造打ち切り後6年間保有しています。補修用電気部品には同機能を有する代替部品を含めます。

アフターサービスについてご不明な点は、当社にお問い合わせください。

保証書

この保証書は、本品をお買い上げの日から1年の間に初期不良で故障が発生した場合に無料修理を行うことをお約束するものです。

品名：オプトスタイル

保証期間：お買い上げ日から1年間

◆お客様ご住所

お客様	お名前
	ご住所
	電話番号 () —

◆販売店記入欄

お買い上げ日:	年	月	日
<販売店(お問い合わせ先)>			
店名・住所			
電話番号 () —			

※上欄に記入および捺印がない場合は、レシートや領収書など(保証書内に)購入を証明する書類を貼り付けてください。

※ご記入いただきました個人情報は、保証期間内における無料修理の対応および事後の安全点検などにご利用させていただく事がございますのでご了承ください。

改訂履歴

バージョン	改訂日	改訂内容
Ver.1.0	2019年2月1日	第1版
Ver.2.0	2024年12月16日	第2版
Ver.3.0	2025年6月10日	第3版

2025年6月10日 第3版 発行

製造販売元
本社

イカリ消毒株式会社
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-11
アグリスクエア新宿11階
TEL. 03-3356-6191（代表）
FAX. 03-3350-1405
<http://www.ikari.co.jp>